

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	4-(3)-ア	多様な分野における国際協力・貢献活動の推進	施 策	③農林水産分野における国際協力の推進
			施策の小項目名	○海外研修生の受け入れによる技術協力や技術交流支援
主な取組	島しょ国の水産業にかかる技術交流・技術協力		対応する成果指標	農林水産分野における研修受講人数
施策の方向	・ 農林水産分野において、JICA沖縄や市町村等と連携し、島しょ地域等からの海外研修生の受け入れによる技術協力や技術交流支援に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
島しょ国の水産業にかかる技術交流・技術協力を 行う。	JICA沖縄、県、漁協等	JICA実施の南太平洋・インド洋・カリブ海等の島しょ国向け研修における講義や教材資料に対する協力		
		遠隔研修を含む研修員受入人数（累計）		
		7人	7人（14人）	7人（21人）
担当部課【連絡先】	農林水産部水産課	【 098-866-2300 】	関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)					
予算事業名		—				予算事業名		—			
主な財源		実施方法		R4年度 決算額		R5年度 決算見込額					
—		その他									
令和5年度活動内容						令和6年度活動計画					
関係機関（JICA等）が実施する海外研修生の受入による技術協力や交流支援に対応し、水産分野における国際協力の推進を図った。						関係機関（JICA等）が実施する海外研修生の受入による技術協力や交流支援に対応し、水産分野における国際協力の推進を図る。					
活動指標名		遠隔研修を含む研修員受入人数 (累計)		R5年度			進捗状況		活動概要		
実績値		R3年度		R4年度		実績値(A)		目標値(B)		達成割合 A/B	
		8人		11人		45人		7人(14人)		100.0%	
								順調		JICA水産課題別研修(27名)、持続的資源利用推進プロジェクト(7名) OFCF沖縄シラヒゲウニ調査(2名)、持続的水産開発促進プロジェクト(11名)の受け入れに協力した。	
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果											
関係機関との連携等により、研修先の要望を踏まえた受け入れ体制を整えたことから、目標値の受入人数を上回る研修協力依頼につながった。											
(2) これまでの改善案の反映状況											
令和5年度の取組改善案						反映状況					
・研修国や人数の増加要望に対応するため、講義依頼以外の事務負担の軽減を図る。 ・関係機関と意見交換を活発に行い、県内受入機関における円滑な研修プログラムの実施を図る。						・JICA研修受託者から提供された前年度のアンケート結果をもとに、講義資料を修正・した。 ・すべて現地研修であったことから、対面方式の意見交換等を実施した。					

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	・感染症対策の緩和に伴い、JICAが募集する研修への要望数が前年度に続き増加している ・パラオ共和国と沖縄県のMOU締結の結果、人材交流や現地技術指導に対する要望が増加している	② 連携の強化・改善	・研修国や人数の増加要望に対応するため、講義依頼以外の事務負担の軽減を図る。 ・関係機関と意見交換を活発に行い、県内受入機関における円滑な研修プログラムの実施を図る。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	4-(3)-ア	多様な分野における国際協力・貢献活動の推進	施 策	③農林水産分野における国際協力の推進
			施策の小項目名	○海外研修生の受け入れによる技術協力や技術交流支援
主な取組	沖縄・台湾技術交流推進事業		対応する成果指標	農林水産分野における研修受講人数
施策の方向	・ 農林水産分野において、JICA沖縄や市町村等と連携し、島しょ地域等からの海外研修生の受け入れによる技術協力や技術交流支援に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄県と中華民国台湾は地理的条件が類似しており農林水産分野で協同して有望種を導入し生産性と品質向上及び安定生産に努めてきた。引き続き技術・研究交流を継続し本県農林水産業の振興及び善隣友好を図る。	県	農林水産業の振興及び善隣友好のための研究交流の実施		
		技術研究交流会の開催、技術習得のための研究員派遣回数（累計）		
		1回	1回（2回）	1回（3回）
担当部課【連絡先】	農林水産部農林水産総務課		【 098-866-2254 】	関連URL
				—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)				
予算事業名		沖縄台湾技術交流推進事業			予算事業名		沖縄台湾技術交流推進事業		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額		R5年度 決算見込額	R6年度				
					主な財源	実施方法	当初予算額		
県単等	直接実施	863		750	県単等	直接実施	1,404		
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画				
台湾と沖縄の研究機関等との相互交流を図るため、研究員を派遣した。台湾側と新たな5年計画（令和5年度～令和10年度）の策定に向け調整した。					台湾と沖縄の研究機関等との相互交流を図るため、研究員を台湾へ派遣する。また、新たな5ヶ年計画の策定を行う。				

活動指標名	技術研究交流会の開催、技術習得のための研究員派遣回数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	0回	1回	1回	1回（2回）	100.0%	順調	亜熱帯性作物に発生する病害虫の生態及び防除技術、施設園芸における栽培技術、新規品目に関する情報交換と技術交流を行った。また、台湾側と新たな5ヶ年計画の策定に向けた調整を行い最終計画案まで作成した。

様式 1 （主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
R5の研究交流により交流計画に掲げていた農業分野の課題を実施することができた。新たな5ヶ年計画を策定することにより各研究分野での交流を引き続き実施することが可能となった。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の実施改善案	反映状況
○交流が促進されることにより、各研究分野での沖縄、台湾間のネットワークが形成され、本県の農林水産業にかかる研究開発が進展する。	台北駐日経済文化代表処那覇分処との事前調整を行うとともに、各研究機関に対し交流計画に基づいた交流テーマに積極的に取り組むよう促した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	新たな5ヶ年計画を基に各研究分野毎における課題や対応策について交流を図る。	① 執行体制の改善	新たな5ヶ年計画を基に台湾と沖縄の研究員の相互交流の充実を図れるよう積極的に働きかける。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	4-(3)-ア	多様な分野における国際協力・貢献活動の推進	施 策	③農林水産分野における国際協力の推進
			施策の小項目名	○パラオEEZ海域における本県漁船の操業継続に向けた取組
主な取組	パラオ共和国との漁業協議等に係る支援		対応する成果指標	農林水産分野における研修受講人数
施策の方向	・パラオEEZ海域（排他的経済水域）は、本県のマグロはえ縄漁船の重要な漁場となっていることから、本県漁船の操業継続に向けて、漁業協議に関する情報収集等を行い、パラオとの友好関係強化を明確化するためのMOU（連携覚書）締結を進めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
パラオ共和国との間で開催される漁業協議への参加、情報収集により、適切な支援を行う。	県	漁業協議等に係る情報収集の実施及び協議への参加		
		漁業協議への参加数（累計）		
		1回	1回（2回）	1回（3回）
担当部課【連絡先】	農林水産部水産課		【 098-866-2300 】	関連URL —

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)							
予算事業名			パラオEEZ操業継続支援事業			予算事業名			パラオEEZ操業継続支援事業				
主な財源		実施方法		R4年度 決算額		R5年度 決算見込額		R6年度					
県単等		直接実施		28, 253		3, 905		主な財源		実施方法		当初予算額	
県単等		直接実施		28, 253		3, 905		県単等		直接実施		4, 780	
令和5年度活動内容						令和6年度活動計画							
パラオでの漁船漁業の技術支援等に取り組むとともに、当該国との漁業協議に関する情報を収集するほか、年1回開催される漁業協議へ参加した。						パラオでの漁船漁業の技術支援等に取り組むとともに、当該国との漁業協議に関する情報を収集するほか、年1回開催される漁業協議へ参加する。							

活動指標名		漁業協議への参加数（累計）		R5年度			進捗状況		活動概要		
実績値		R3年度		R4年度		実績値(A)		目標値(B)		達成割合 A/B	
		1回		1回		0回		1回（2回）		0.0%	
										概ね順調	
活動概要 パラオ共和国との漁業協議へ向け、県内で水産庁や漁業関係者と4回事前調整を行った。事前にパラオ側から今回の漁業協議では昨年と同内容とする連絡があったことから、同国での漁業協議には参加していない。											

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和5年度の漁業協議では、パラオ側大臣も出席せず、昨年と同内容で合意予定との情報があったため、パラオ共和国での漁業協議へは参加していない。ただし、国内での事前調整により、関係者間で漁業協議に向けた意見集約を十分行っているものと判断した。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○漁業協議に資する良好な関係を築くため、MOUに基づく関係強化を進めるほか、国やJICA等の行う国際協力事業とも連携を強化する。	○MOUに基づく水産分野ワーキングチームとしてパラオ共和国を訪問し、現地視察および技術指導を行うとともに、効果的な国際協力となるよう、国やJICA等とも活動内容を共有した。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑥ 他地域等の動向 (外部環境の変化)	令和 6 年度はパラオ共和国大統領選挙やパラオ国内操業可能水域を制限しているPNMS法の見直し等、主要なイベントが多く予定されている。	⑥ 変化に対応した取組の改善	操業可能水域の拡大へ向け、パラオ国内の動向も注視しつつ、国や水産関係団体とも連携して取り組む。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(3)-ア	多様な分野における国際協力・貢献活動の推進	施 策	③農林水産分野における国際協力の推進
			施策の小項目名	○パラオEEZ海域における本県漁船の操業継続に向けた取組
主な取組	パラオ共和国と沖縄県の友好関係の強化		対応する成果指標	農林水産分野における研修受講人数
施策の方向	・パラオEEZ海域（排他的経済水域）は、本県のマグロはえ縄漁船の重要な漁場となっていることから、本県漁船の操業継続に向けて、漁業協議に関する情報収集等を行い、パラオとの友好関係強化を明確化するためのMOU（連携覚書）締結を進めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
パラオとの友好関係を強化するため、パラオ共和国と沖縄県のMOUの締結を行う。また、MOUに基づき、水産分野のワーキングチーム設置を行う。	県	パラオ共和国と沖縄県のMOUの締結		
		MOUの締結		
		締結	—	—
担当部課【連絡先】	農林水産部水産課		【 098-866-2300 】	関連URL
				—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	-			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	
—	—			—	—	
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
パラオ共和国とのMOUに基づき、職員等を派遣して現地確認を行い、同国の水産業における課題の抽出を行った。				パラオ共和国とのMOUに基づき、職員を派遣するなどして、同国の水産業における課題の解決を支援することで、友好関係の強化を図る。		

活動指標名	MOUの締結		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	—	1	-	—	0.0%	順調	令和4年度に締結したパラオ共和国とのMOUに基づき、水産分野におけるワーキングチームを設置した。また、職員等を派遣して現地確認を行い、同国の水産業における課題の抽出を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和5年8月に県職員3名ほかを派遣して現地確認を行い、同国の水産業の抱える問題を抽出して、今後の対応を検討した。その内容をパラオ共和国の関係者と共有できたことから、同国との友好関係の強化に貢献できたと考えられる。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
他部局やJICA等の取組状況も注視しつつ、より効果的な技術支援や人材交流による友好関係の強化に努める。	現地視察結果を取りまとめ、パラオ共和国の関係者と共有し、同国の抱える水産業の課題と将来的な取組の方向性を共有できた。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑥ 他地域等の動向 (外部環境の変化)	令和 6 年度以降のMOU協議に向け、パラオ共和国の水産業の抱える各種問題に適切に対応できるよう、ワーキングチームの体制を整える必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	Web会議等の活用により、パラオ共和国側の要望を適切に把握することで、着実な支援につなげ、同国との友好関係の強化を図る。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	4-(3)-ア	多様な分野における国際協力・貢献活動の推進	施 策	③農林水産分野における国際協力の推進
			施策の小項目名	○パラオEEZ海域における本県漁船の操業継続に向けた取組
主な取組	パラオ共和国への技術支援等		対応する成果指標	農林水産分野における研修受講人数
施策の方向	・パラオEEZ海域（排他的経済水域）は、本県のマグロはえ縄漁船の重要な漁場となっていることから、本県漁船の操業継続に向けて、漁業協議に関する情報収集等を行い、パラオとの友好関係強化を明確化するためのMOU（連携覚書）締結を進めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
パラオ共和国との友好関係強化のため、締結したMOUに基づき、沖縄県が有する技術・人材等を活用した各種支援を実施する。	県,漁協等	沖縄県が有する技術・人材等を活用した各種支援の実施		
		技術支援・人材交流等の実施回数（累計）		
		1回	1回（2回）	1回（3回）
担当部課【連絡先】	農林水産部水産課		【 098-866-2300 】	関連URL —

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名		パラオEEZ操業継続支援事業		予算事業名		パラオEEZ操業継続支援事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度			
				主な財源	実施方法		
県単等	委託	28, 253	3, 905	県単等	直接実施	4, 780	
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画			
水産分野ワーキングチームの取組として、パラオ共和国への水産専門家等を派遣し、人材交流および技術支援を行った。				水産分野ワーキングチームの取組として、パラオ共和国への水産専門家等を派遣し、人材交流および技術支援を行う。			

活動指標名	技術支援・人材交流等の実施回数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	-回	1回	1回	1回 (2回)	100.0%	順調	令和4年8月にパラオ共和国と締結した友好関係強化に関する覚書 (MOU) に基づき、水産分野ワーキングチームとして同国を訪問し、現地視察や技術指導等を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県としても、直接パラオ共和国の水産関係先を視察し、意見交換を行うことで、同国内の状況を把握することができた。また、パラオ訪問時も、国際協力を行うJICA等の関係機関と相互の取組内容等について意見交換を行うことができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
○他部局やJICA等の取組状況も注視しつつ、より効果的な技術支援や人材交流が行えるよう情報を共有する。	パラオ訪問にあたり、JICA等とも情報交換を行い、取組内容を検討した。また、沖縄水産高校実習船のパラオ寄港へ向けた事前の現地調査として、同行教諭もパラオに同行するなど、他部局と連携した取組を行った。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑥ 他地域等の動向 （外部環境の変化）	令和 6 年度はパラオ共和国大統領選挙を控える等、パラオ国内情勢が大きく変わる可能性がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	パラオ国内情勢を注視しつつ、同国との友好関係強化に資する取組となるよう、関係機関との情報共有を密に行う。